

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

| | | | |
|--|--------------------------|-----------|-----------|
| 1 都道府県・市区町村名 | 福岡県・大牟田市 | 2 補助事業の種類 | 世界文化遺産活性化 |
| 3 実施計画の名称 | 大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン | | |
| 4 実施計画期間 | 平成 29 年度 ～ 平成 31 年度 | | |
| 5 過去の補助事業実績 | | | |
| 平成 2 3 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 | — | | |
| 平成 2 4 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 | — | | |
| 平成 2 5 年度文化遺産を活かした地域活性化事業 | 千円 | | |
| 平成 2 6 年度文化遺産を活かした地域活性化事業 | 千円 | | |
| 平成 2 7 年度文化遺産を活かした地域活性化事業 | 千円 | | |
| 平成 2 8 年度文化遺産を活かした地域活性化事業 | 千円 | | |
| 6 計画の実施状況（概要） | | | |
| ※平成29年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。 | | | |
| <p>大牟田市には、他の地域にはない本市固有の貴重な財産である三池炭鉱関連の近代化産業遺産が数多く残っている。これらの遺産を保存し、また、炭鉱を支えた人々の思いやさまざまな労苦、出来事を後世に語り継いでいくことで、本市の歴史・文化の成立ちを永続的に次世代へ継承し、更には、まちづくりにも活用していくことが大切であると考え、平成24年9月に「大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン」を策定した。</p> <p>このプランの下、三池炭鉱関連資産の世界遺産登録に向けた取り組みを進め、平成27年7月に、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として、宮原坑、専用鉄道敷跡、三池港が世界文化遺産に登録され、地域の財産が、「世界の宝」になったことで、市民がわがまちを再認識し、わがまちへの愛着と誇りを強く持つきっかけとなっている。</p> <p>またユネスコの要請に基づき、構成資産の保存・公開・活用に関する計画を策定し（平成29年度）、適切な保存管理や価値の伝承、及び活用に向けた取り組みを進めている。併せて、世界遺産構成資産以外の近代化産業遺産についても、本市の歴史・文化の成立ちを示すものであることから、それらを活用したまちづくりを進めるため、計画的な修復・整備、公開に取り組んでいる。</p> | | | |
| 7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 | | | 別紙①②のとおり |
| ※平成29年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。 | | | |
| 8 効果等の検証・分析結果 | | | |
| ※上記7の進捗に対する検証・分析結果を記載し、併せて定性的な効果を具体的に記載してください。 | | | |
| <p>事業①三池炭鉱関連資産子ども向けパンフレット作成事業については、指標を補助事業終了後（30年度以降）のパンフレット増刷数としていたため、定量的な成果は出ていない。市内の小学生4年生以上全員に配布し、本市の事業として行っているバス見学の資料や、E S D教育における世界遺産（郷土）学習の教材としても活用。また、「分かり易い」ということで、大人にも好評で、各見学施設での設置・配布を行いながら活用を図り、来訪者等の近代化産業遺産への理解につなげていく。</p> <p>事業②ガイドマニュアル作成事業については、指標を施設ガイド、観光ボランティアガイドの利用者数としており、95.4%の達成率としているが、ガイドマニュアルの作成時期が遅れたため、マニュアル作成の効果は反映されていない。30年度以降、作成したマニュアルを用いた研修会の開催などにより、ガイドの質向上を図り、利用者数の増を目指す。</p> | | | |

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

| | | | | | | | | |
|------------|--------------------------|------------|------------|----------|----------|----------|-----|------------|
| 具体的な指標 1 : | 宮原坑・三池港への観光入込客数 | | | | | 関連事業: | ①、② | |
| 目標値 1 : | 平成 28 年度 | | 59,000 (人) | | ⇒ | 平成 31 年度 | | 68,000 (人) |
| 進捗状況 1 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | | |
| 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | | | |
| (人) | (人) | 55,900 (人) | (人) | (人) | (人) | | | |
| | | 0% | | | | | | |
| 具体的な指標 2 : | 「まちづくり市民アンケート」の近代化遺産の周知率 | | | | | 関連事業: | ①、② | |
| 目標値 2 : | 平成 28 年度 | | 84.9 (%) | | ⇒ | 平成 31 年度 | | 94.1 (%) |
| 進捗状況 2 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | | |
| 平成 年度 | 平成 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | | | |
| (%) | (%) | 83.1 (%) | (%) | (%) | (%) | | | |
| | | 0% | | | | | | |

様式 1 - 2 別紙②

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

| | | | | | | | | | | | |
|---------|--|----|-----------|--------|-----|-------|--------------------------|-------|-----------|-------|-----|
| 事業①： | 三池炭鉱関連資産子ども向けパンフレット作成事業 | | | | | 実施団体： | 大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会 | | | | |
| 事業区分： | 情報発信 | | | | | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 29 年度 | | | | |
| 事業概要： | <p>明治日本の産業革命遺産の概要、宮原坑をはじめとする世界遺産施設、その他市内に数多く残る三池炭鉱関連の近代化産業遺産の歴史や価値を小中学生が分かりやすく理解できるよう、子ども向けパンフレットを作成する。パンフレットは、イラストや写真を多用し、表現も平易にすることで、子どもはもとより、大人が見ても分かりやすい内容とするよう工夫を凝らすものとする。このパンフレットは、各資産等を見学する小中学生や市内の小中学生に配布するほか、大牟田市のホームページにも掲載し、広く活用を図っていく。</p> | | | | | | | | | | |
| 具体的な指標： | 補助事業終了後（30年度以降）のパンフレット増刷数 | | | | | | | | | | |
| 目標値： | 平成 29 年度 | | 0（部） | | | ⇒ | 平成 31 年度 | | 15,000（部） | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | | | | | |
| 平成 | 年度 | 平成 | 年度 | 平成 29 | 年度 | 平成 30 | 年度 | 平成 31 | 年度 | 平成 32 | 年度 |
| | (部) | | (部) | 0 | (部) | | (部) | | (部) | | (部) |
| | | | | 0% | | | | | | | |
| 事業②： | ガイドマニュアル作成事業 | | | | | 実施団体： | 大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会 | | | | |
| 事業区分： | 人材育成 | | | | | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 29 年度 | | | | |
| 事業概要： | <p>大牟田市では、世界文化遺産に登録された宮原坑や三池港にガイドを配置し、来訪者に対し施設の案内を行っている。また、三池炭鉱関連施設をはじめとする大牟田市の観光案内を行う、観光ボランティアガイドも活動している。</p> <p>一見するだけでは理解し難い近代化産業遺産を分かりやすく理解するには、ガイドによる解説が必要不可欠であり、ガイドの技術向上の取組は喫緊の課題となっている。また、大牟田市のガイド活動の問題点として、マニュアル等が存在せず、各ガイドが統一した解説内容とはなっていないことが挙げられる。こうしたことから、ガイド育成のための取組として、ガイドマニュアルを作成する。</p> <p>ガイドマニュアルには、明治日本の産業革命遺産、三池炭鉱の歴史や文化、ガイドの心得などを盛り込み、ガイド全員に配布する。</p> | | | | | | | | | | |
| 具体的な指標： | ボランティアガイド利用者数 | | | | | | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 59,500（人） | | | ⇒ | 平成 31 年度 | | 64,800（人） | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | | | | | |
| 平成 | 年度 | 平成 | 年度 | 平成 29 | 年度 | 平成 30 | 年度 | 平成 31 | 年度 | 平成 32 | 年度 |
| | (人) | | (人) | 55,900 | (人) | | (人) | | (人) | | (人) |
| | | | | 0% | | | | | | | |